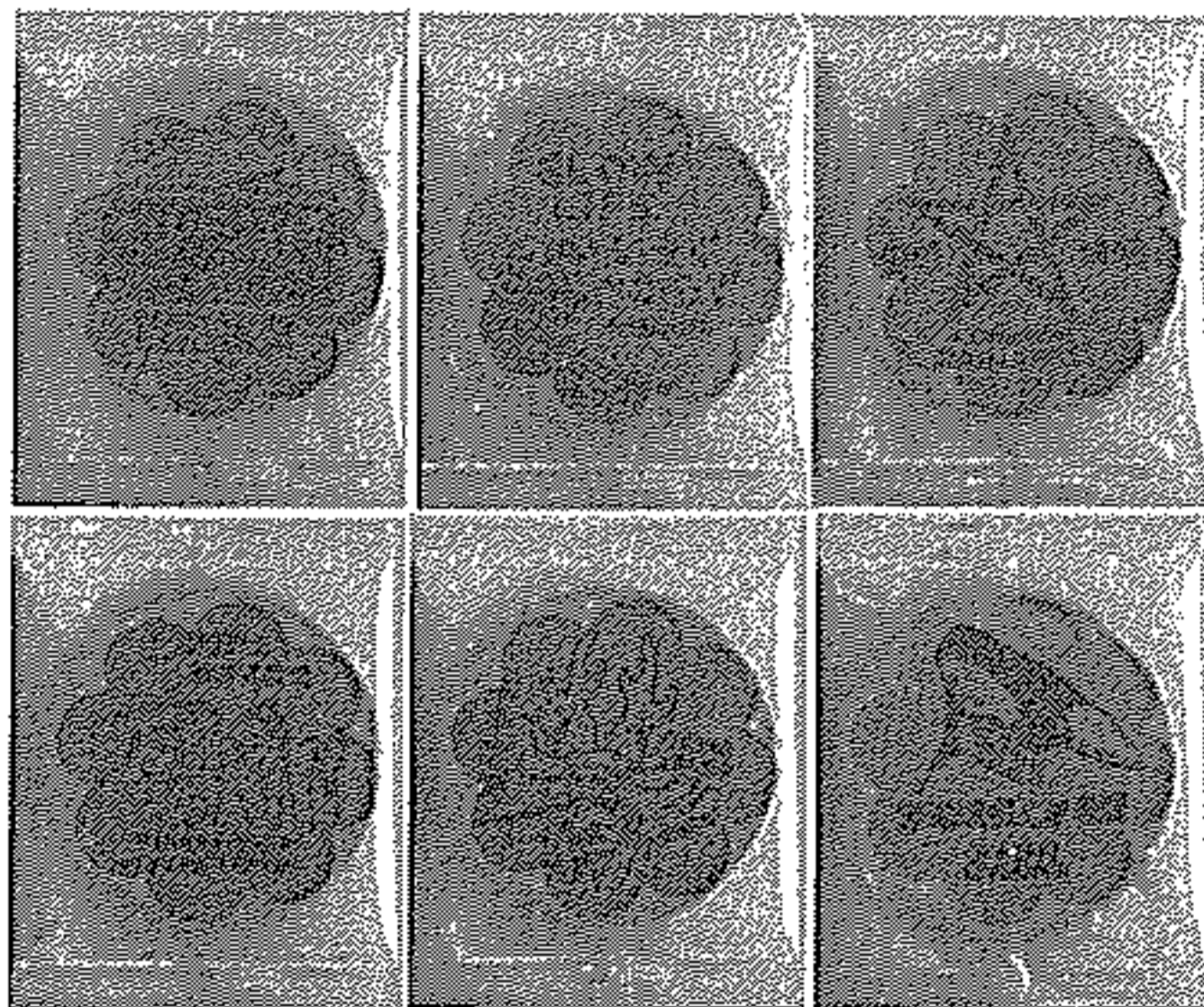


オリジナルグッズ

“歴史うんちく煎餅” を試作しました

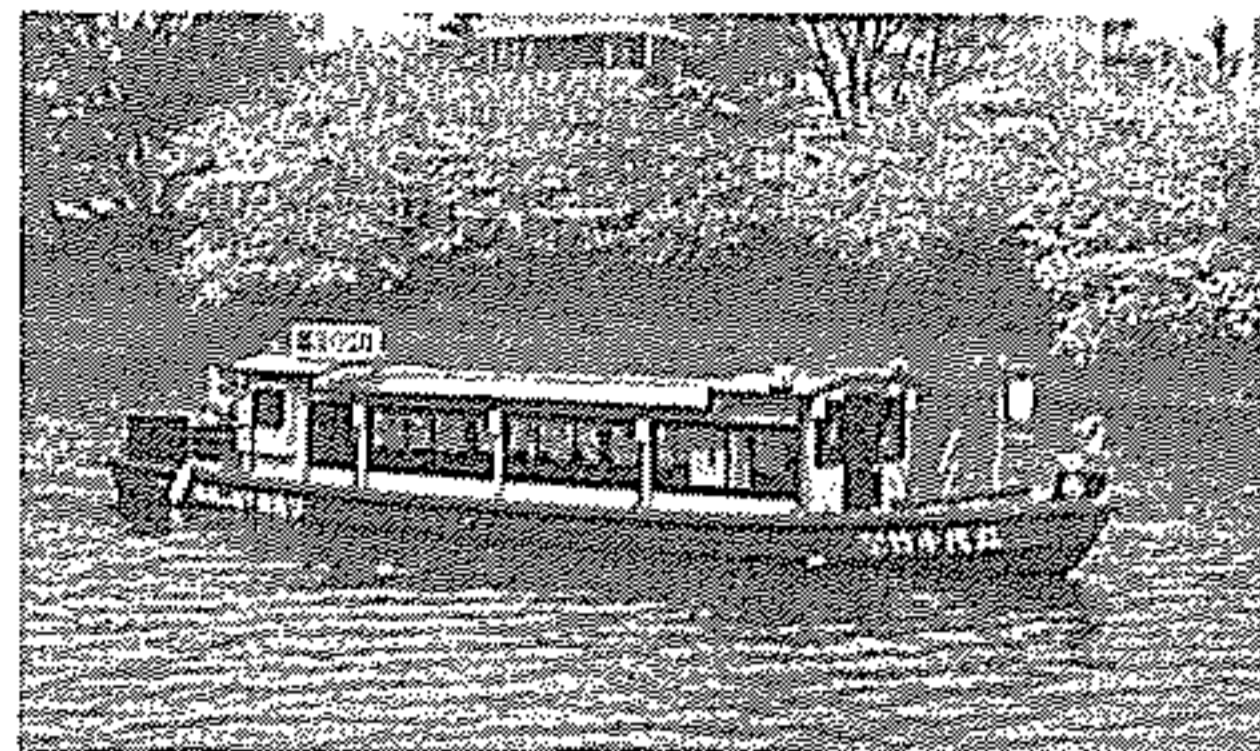
電車どおり周辺は岡崎の歴史がいっぱいに詰まった地域です。そんな地域の物語を選び「歴史うんちく煎餅」を試作しました。



写真左上から時計回りに解説します。まずは、5商店街のシンボルの市電の図柄。JR 岡崎駅と市中心部を結ぶ馬車鉄道として明治 31 年(1898)に開業し、その後の電化や、福岡町と大樹寺までの延伸を経て、昭和 37 年(1962)に惜しまれながら姿を消しました。亀の意匠の煎餅は、岡崎城の北に位置する能見北発展会の煎餅。亀は北の守り神です。安倍晴明は本町晴明ストリートの煎餅。平安時代、本町通の晴明神社の場所に道場を開き、陰陽道を伝えました。朝鮮通信使と三河武士の煎餅は岡崎銀座商店街。三河武士の鳥山牛之助は努力の末、第 7 次通信使の金指南の心をつかむことができ、最高の評価を受けました。本多忠勝の煎餅は殿橋通発展会。地内に忠勝の屋敷がありました。浄瑠璃姫の煎餅は岡崎明大寺商店街。周辺に屋敷跡やゆかりの地が点在しています。これから順次、これらの煎餅を販売できるよう準備を進めてまいります。

岡崎城下 舟遊び

今年の春は
ちょっと小粋に舟でお花見



舟から見る桜の花はまた格別。今年も「竹千代丸」と「元康丸」の 2 艘が、殿橋下流から吹矢橋の間を約 45 分かけて、ゆったりと往復。岡崎の春を彩る「岡崎城下舟遊び」は、お茶とお菓子でプチゼいたくなお花見。ちょっとイイ気分になれますよ。

運航期間；3月26日(木)～4月8日(水)
14日間

乗船場所；殿橋下流乗船場

乗船料金；大人 1000 円(お茶、お菓子付)
小中学生 500 円(お茶、お菓子付)

乗船定員；20 名 / 1 便

運航時間；10:30 11:00 11:30 12:00
13:30 14:00 14:30 15:00
15:30 16:00 17:30 18:00
18:30 19:00

■発行

電車どおり 5 商店街

- 能見北発展会
- 本町晴明ストリート
- 岡崎銀座商店街振興組合
- 殿橋通発展会
- 岡崎明大寺商店街振興組合
- 街情報ステーション

■協力

岡崎商工会議所
岡崎市観光協会

■編集協力

おかざき塾
三河・岡崎のタウン誌「リバーシブル」

電車 どおり 瓦片反

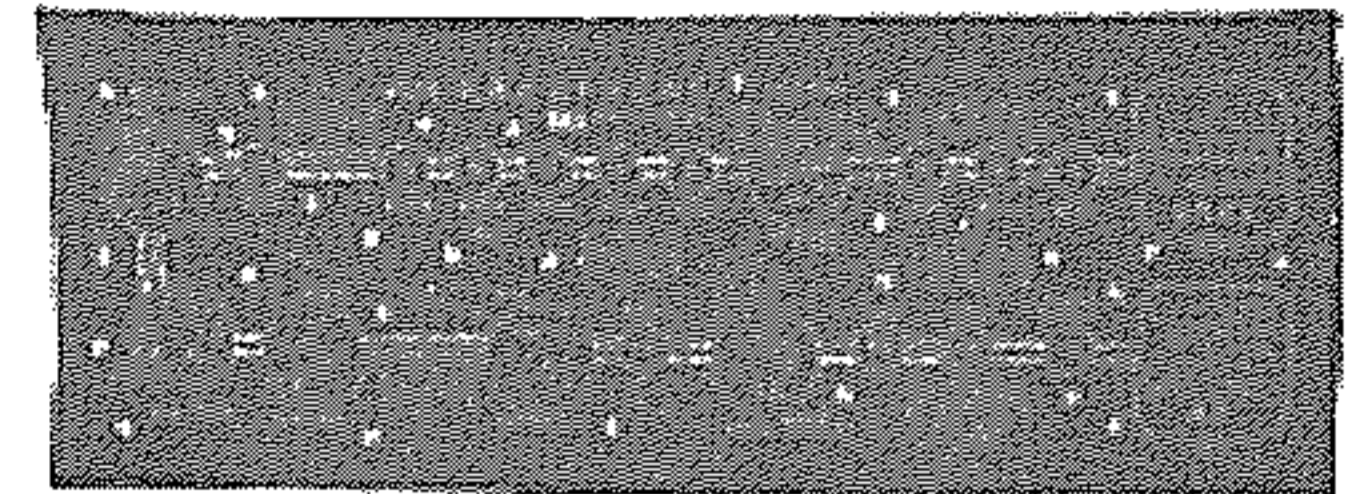
2009年(平成21年)4月・5月(第17号)

電車どおりの住民がご近所のネットワークを活かしまち歩きを楽しくするオススメポイントをご紹介します。



電車どおり5商店街

すごろく手ぬぐいを
ただいま販売中



町歩きの必需品の日本手ぬぐい、電車どおり 5 商店街が製作したオリジナル手ぬぐいは、遊び心いっぱいの「岡崎電車どおりすごろく手ぬぐい」。福岡町をふりだしに市電の停留所を進み上がりは大樹寺。1 本 500 円で、シビコ 1 階のピズ (21-4292)、本町通のナチュラル*アート (26-7612)、能見北の学生の店シバジ (21-0945)、康生通東の街情報ステーション (22-5720) で手に入ります。

本多忠勝の“歴史うんちく煎餅”も企画進行

本多忠勝の好感度は戦国武将の中でもピカイチ。BS 熱中夜話では堂々の 2 位に輝きました。そんな忠勝なのに、これまで岡崎では、徳川家康公の影に隠れ、お土産品もほとんどありません。今回の試作では予算の都合で一つだけ、「すくうきよ」の刀の鐔の図柄ができました。「家康に過ぎたるもの」や「蜻蛉切」「57 戦無傷」や家紋、花押などは今後の試作に乞うご期待となりました。

